

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2005-200637(P2005-200637A)

【公開日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2004-358277(P2004-358277)

【国際特許分類】

C 10 L 1/192 (2006.01)

C 10 L 1/02 (2006.01)

C 10 L 1/04 (2006.01)

C 10 L 1/224 (2006.01)

【F I】

C 10 L 1/18 Z A B A

C 10 L 1/02

C 10 L 1/04

C 10 L 1/22 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月7日(2007.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

F 1) 鉱物起源の燃料油、及び

F 2) 植物及び／または動物起源の燃料油、及び低温添加剤としての次の成分、すなわち、

A) エチレン、及びC<sub>1</sub>～C<sub>18</sub>アルキル基を有する少なくとも一種のアクリル酸エステルもしくはビニルエステル8～21モル%からなる少なくとも一種のコポリマー、及び  
B) C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキル基を有する構造単位を含む少なくとも一種の樹状ポリマー（但しこの際、前記構造単位は、C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキル（メタ）アクリレート、C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキルビニルエステル、C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキルビニルエーテル、C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキル（メタ）アクリルアミド、C<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>アルキルアリルエーテル、及びC<sub>8</sub>～C<sub>16</sub>ジケテンから選択される）

を含んでなる燃料油組成物F)であって、この際、

次式

【数1】

$$R = m_1 \cdot \sum_i w_{1i} \cdot n_{1i} + m_2 \cdot \sum_j w_{2j} \cdot n_{2j} + \dots + m_g \cdot \sum_p w_{gp} \cdot n_{gp}$$

[式中、

m<sub>1</sub>、m<sub>2</sub>、…m<sub>g</sub>は、ポリマー中の上記モノマーB)のモル分率であり、そしてモル分率m<sub>1</sub>～m<sub>g</sub>の合計は1であり、

w<sub>1i</sub>、w<sub>1j</sub>…w<sub>2i</sub>、w<sub>2j</sub>…w<sub>gp</sub>は、様々なモノマーB)1～gのアルキル基の個々の鎖長i、j、pの重量割合であり、そして

n<sub>1i</sub>、n<sub>1j</sub>…n<sub>2i</sub>、n<sub>2j</sub>…n<sub>gp</sub>は、モノマーB)1～gのアルキル基i、j、…pの鎖長である]

で表される、前記モノマーB)のアルキル基における炭素鎖長分布のモル平均値の合計R

が 11.0 ~ 14.0 である、上記燃料油組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

好ましい鉱物起源の油は中間蒸留物である。動物及び／または植物起源の燃料油（以下、バイオ燃料とも称する）と中間蒸留物との間の混合比は1：99～99：1であることができる。特に好ましいものは、バイオ燃料を2～50体積%、特に5～40体積%、とりわけ10～30体積%の量で含む混合物である。本発明の添加剤は、このような混合物に優れた低温特性を与える。